

令和4年度 第9回部長会議 会議記録（要旨）

開催日時：令和4年11月1日（火） 13時00分から14時30分まで

開催場所：分散型WEB会議（市長公室、A203-204会議室）

出席者：佐藤市長、高田副市長、原田総務部長、塚平企画部長、細田リニア推進部長、塚平市民協働環境部長、高山健康福祉部長、串原産業経済部長、今産業経済部参事、米山建設部長、毛利建設部参事、田中危機管理部長、土屋上下水道局長、齊藤市立病院事務局長、北原会計管理者、松下教育委員会参与、佐々木財政課長、小室秘書課長、小椋南信州広域連合事務局次長、林企画課長

会議内容

1 理事者あいさつ

＜市長＞

- ・脱炭素先行地域に選ばれたことが公表された。これまで環境文化都市を標榜し、また、環境モデル都市としての取組を進めてきたが、ゼロカーボンシティの実現に向けてさらに取組を強化していくことになる。
- ・これは、ゼロカーボンシティ推進課、市民協働環境部だけの取組ではなく、全庁的に、また、市役所だけでなく市民の皆さんや事業者の皆さんと一緒にやっていくこと。今回の脱炭素先行地域の選定を機に、さらに皆さんとしっかり取り組んでいきたい。
- ・予算編成の基本方針を庁内向けに発出をした。あくまでも基本方針であり、それ以外のことを要求しないということではないが、大きな方針に沿って各部局で予算要求をしていただきたい。
- ・予算編成方針については、自分の担当する分野だけを見て考えるのではなく、他の分野も一通り目を通し、市役所全体としてどのような予算を作ろうとしているのかを、具体的なことも含めて見ていただきたい。そこからインスピレーションが湧くこともある。各部局長は一通り目を通していただき、また職員も自分の分野だけでなく他の分野も見て考えていただきたい。

＜副市長＞

- ・予算編成については、大きな課題が整理され明確になった。自分の分野だけでなく課題を共有し、予算の中で、アイデアだけでも良いので解決方法を財政課へ提案をするなど、対応について具体化し、多くの人に関わってもらいたい。
- ・12月議会では、指定管理者の選定の議案が多い。それぞれの施設の現状と指定管理者を選定した理由等を明確に説明すること。
- ・プラゴミの処理、成年後見制度、消費生活センターといった、広域的な事務処理手続きの課題が出てきている。企画部を通じて、広域事務局と情報を共有し、各町村とどう整理していくのかについて、市としての責任を持って対応すること。自分たちの都合だけではなく、飯田下伊那全体としてどう整理して取り組んでいくかという視点を持っていただきたい。
- ・警察署の改築及び免許センターの併設について、市議会臨時会の全協で説明する。庁内全体でどのように整理をされ、今どの段階にあり、なにが課題なのかを職員に共有していただきたい。

2 協議事項

(1) 第4次飯田市食育推進計画（案）について

◇趣旨

- ・第4次飯田市食育推進計画の策定をしたいとするもの。

◇協議内容

（教育委員会参与）

- ・食育基本法が制定された当時は、「食育」がいろいろなところでクローズアップされていたが、今はそういう状況にないため、そもそも食育とはどういうことなのかを整理して記載する必要がある。市民の目線に立った際に、分かりにくく感じる。
- ・それぞれが健康で元気に生きていくこと、食の循環をしっかりと取り戻していくこと、域産域消の取組を進めていくことなど、いくつか取組の柱がある。概要版が、目的や取組の柱を市民の皆さんに理解していただくための入り口になる。概要版を見たときに、どこに向かって何をするためのどういう骨組みなのか

分かるよう、工夫をした方が良い。スローガンも含めて、簡単にわかりやすくすることが必要ではないか。
(保健課長)

- ・この計画は、各分野から浅く拾ってきた総合的な計画になってしまう性質があるが、大事なところを強調するなど、分かりやすくなるよう検討する。

(企画部長)

- ・この計画は3次を踏まえた4次の計画ということだが、夕食の共食率が上昇したのはコロナ禍の影響であり、朝食の欠食率が増えているということは、3次の取組としての成果が出ていないとも言える。そうだとすると、前と同じスローガンでいいのかも含めて検討することが必要ではないか。

(市長)

- ・計画本分にコラムが多く入っていて、それぞれ興味深い内容になっており、読みやすい。
- ・一方で、3次の評価については、達成できなかった背景を分析し、4次に向けてはこういうところを重点的にやっていくとする、振り返りとその対策について明瞭に書くこと。
- ・設定した数値目標を具体的にどう達成するのか。具体的な取組案が、計画本体に書かれていない。数値目標について、3次の振り返りを踏まえて4次では具体的にどう取り組むという組立にすること。
- ・全部ではないとしても、具体的な取組方針や内容を記載することで、市民がなるほどそういう取組をすれば、目標が達成できるとわかる計画にすること。
- ・スローガンについては、見直しも検討すること。

(保健課長)

- ・具体的な取組については書き込むこととする。
- ・なかなかスローガンについては良い案が思いつかないが、考えさせていただきたい。

(企画部長)

- ・市民の皆さんが取り組むには、どうしたらいいかイメージがわく計画にしていきたい。その視点で見直していただくと、良い計画になると思う。

◇協議結果

- ・3次計画の分析を行い、その対策についての具体的な取組を記載すること。
- ・市民に分かりやすく、また、具体的な取組がイメージできるよう、スローガンも含めた計画の記載内容について工夫すること。

(2) 飯田市生活排水処理基本計画の改定について

◇趣旨

- ・飯田市生活排水処理基本計画を令和14年度までの10年間の計画として改定したいとするもの。

◇協議結果

- ・部長会了承

3 報告事項

(1) 令和4年飯田市議会第4回定例会の付議案件について

◇趣旨

- ・令和4年飯田市議会第4回定例会の付議案件について報告する。

(2) 令和4年度一般会計補正予算（第8号）案について

◇趣旨

- ・令和4年度一般会計補正予算（第8号）案について報告する。

(3) 飯田警察署現地改築及び（仮称）南信運転免許センターの併設について

◇趣旨

- ・飯田警察署現地改築及び（仮称）南信運転免許センターの併設について、令和4年第2回臨時会の全員協議会において報告する。

(4) 飯田市議会臨時会全員協議会報告事項について

◇趣旨

- ・飯田市議会臨時会全員協議会報告事項について報告する。

(5) 飯田市議会第4回定例会（閉会日）全員協議会報告事項について

◇趣旨

- ・飯田市議会第4回定例会（閉会日）全員協議会報告事項について報告する。

(6) 飯田市議会第4回定例会各委員会協議会報告事項について

◇趣旨

- ・飯田市議会第4回定例会各委員会協議会報告事項について報告する。

4 その他、連絡事項

(市民協働環境部長)

- ・脱炭素先行地域に選出をされた。今回は、50地域から要望が挙げられている中、20地域が選出された。
- ・前回の申請における反省を生かし、中部電力(株)に大きな協力をいただいたこと、川路地区のメガソーラー周辺だけではなくて川路地区全域の協力を得られたことを環境省に評価していただいた。
- ・具体的な活動については、小中学校を活用した太陽光発電施設をどのように活用していくかもあるが、環境教育を児童生徒から家庭へ広げる取組をどのように進めていくかがこれから重要になってくる。
- ・改めてゼロカーボンシティ推進本部会議し説明をさせていただく。また、脱炭素先行地域に選ばれた地区での先進的な取組を各部署の予算編成でも活用していただくために、一覧表を作成し説明をさせていただく。
- ・市民の皆さんを含めて全員で取り組んでいくことになるため、引き続き協力をお願いしたい。

(危機管理部長)

- ・新型コロナウイルス感染症について、コロナ対策本部会議において、県の警戒レベルの基準が変わったことを報告した。
- ・南信州圏域における感染者が一昨日から450人を超えており、昨日の時点で470人であった。警戒レベル5になるかもしれないため、ご承知おきいただきたい。
- ・なお、警戒レベル5に変わっても施設等の取扱いは変わらず、市民の皆さんへの呼びかけを強化するのみであるため、コロナ対策本部会議の開催は予定していない。

4 閉会